

検査・表示設定



設定を確認して、有効にする場合はチェックをONに、無効にする場合はチェックをOFFにします

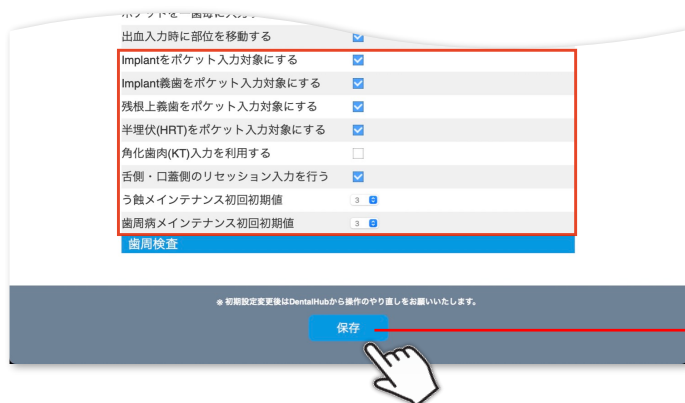
☒ チェックON
☐ チェックOFF

必ず設定を保存してください

検査入力	初期値	説明
連続入力モードを使用する	ON	入力部位の次の部位へ自動で移動する設定です
入力方向	右回り	入力部位の移動方向を設定します
ブラークの入力点数初期値	4点	初期表示の際の入力点法を設定します
ポンティックをブラーク入力対象にする	OFF	ブラーク入力の対象にするかどうかを設定します
Implantをブラーク入力対象にする (Implant義歯を含む)	ON	
残根上義歯をブラーク入力対象にする	ON	
半埋伏(HRT)をブラーク入力対象にする	ON	
ポケット入力点数初期値	1点	初期表示の際の入力点法を設定します
ポケット目盛りの刻み	1mm	ポケット値の入力単位を設定します
ポケット排膿入力を使用する	ON	排膿項目を使用するかどうかの設定をします
ポケットを一歯毎に入力する	OFF	ポケットN画面の4点6点法時の入力順を設定します チェックあり チェックなし
出血入力時に部位を移動する	OFF	ポケットN画面の出血部位入力で連続入力の有無を設定します

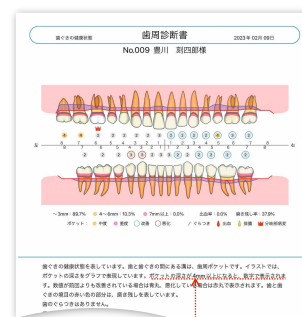
次ページへ続く ↓

検査入力	初期値	説明
Implantをポケット入力対象にする	ON	ポケット入力の対象にするかどうかを設定します
Implant義歯をポケット入力対象にする	ON	
残根上義歯をポケット入力対象にする	ON	
半埋伏(HRT)をポケット入力対象にする	ON	
角化歯肉(KT)入力を利用する	OFF	角化歯肉(KT)の入力を利用するかどうかを設定します
舌側・口蓋側のリセセッション入力を行う	ON	リセセッション入力を利用するかどうかを設定します
う蝕メインテナンス初回初期値	3	う蝕メインテナンス初回の初期値を指定します
歯周病メインテナンス初回初期値	3	歯周病メインテナンス初回の初期値を指定します



必ず設定を保存してください

歯周検査	初期値	説明
歯周検査表 初期表示対象	「分岐部」 「リセセッション」はON 「AG/KT」はOFF	「分岐部」 「リセセッション」 「AG/KT」 を検査表に表示するかどうかを 設定します
ポケット中度区分	4~6mm	中度区分を設定します
ポケット中度区分カラー	黄色	中度区分を表す色を設定します
ポケット歯周病基準	4mm	ポケットの基準値を設定します
診断書に中度区分以下の ポケット値を表示	チェックON	歯周診断書に中度区分以下のポ ケット値を表示します。 ※中度区分範囲での変化にも改善 ／悪化を表す丸枠がつきます。 OFFにすると中度区分以下のポケット 値を非表示にします。 非表示中でも、中度区分以上の数値か ら中度区分以下の数値に改善された場 合は青丸だけが表示されます。 チェックをONにした場合、歯周診断書に表示されるメッセージの一部を 初期設定で削除してご利用いただく必要があります。 詳細は⇒「自動コメントの設定」2ページ目を参照してください。



次ページへ続く ↓

ポケット歯周病基準
診断書に中度区分以下のポケット値を表示 ☒

推移グラフ境界値

グラフ境界値 ポケット基準値以上	10 %
グラフ境界値 BOP	10 %
グラフ境界値 プラークスコア	30 %

※ 初期設定変更後はDentalHubから操作のやり直しをお願いいたします。

保存

必ず設定を保存してください

推移グラフ境界値	初期値	説明
グラフ境界値 ポケット基準値以上	10%	ポケット推移の境界値を設定します
グラフ境界値 BOP	10%	BOPの境界値を設定します
グラフ境界値 プラークスコア	30%	プラークスコアの境界値を設定します

診断書に中度区分以下のポケット値を表示 ☒

推移グラフ境界値

グラフ境界値 ポケット基準値以上	10 %
グラフ境界値 BOP	10 %
グラフ境界値 プラークスコア	30 %

表示

印刷追加時の左右反転	右 ← 左
説明 画像追加時の左右反転	右 ← 左
説明 検査・見積追加時の左右反転	右 ← 左
説明 歯周検査表追加時の左右反転	右 ← 左
説明 唾液検査追加時の反転	内側良
説明 画像の背景色を黒にする	☐

説明 ムシ歯表示パターン ☒ ムシ歯

PESA PISAを表示する ☐

※ 初期設定変更後はDentalHubから操作のやり直しをお願いいたします。

保存

必ず設定を保存してください

表示	初期値	説明
[印刷]追加時の左右反転	右一左	[印刷]でプレビューする歯列の向きを設定します
[説明]画像追加時の左右反転	右一左	[説明]でプレビューする画像の向きを設定します
[説明]検査・見積追加時の左右反転	左一右	[説明]でプレビューする歯列の向きを設定します
[説明]歯周検査表追加時の左右反転	右一左	[説明]でプレビューする検査表の向きを設定します
[説明]唾液検査追加時の反転	内側良	[説明]でプレビューする値の向きを設定します
[説明]画像の背景色を黒にする	OFF	[説明]で画像を表示するときの背景色が黒になります

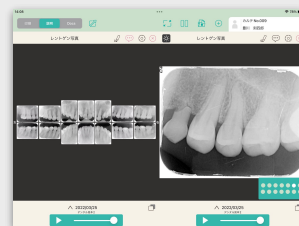
OutPut [印刷]画面



背景白



背景黒



次ページへ続く ↓

説明 歯周検査表追加時の左右反転

説明 唾液検査追加時の反転

説明 画像の背景色を黒にする

説明 ムシ歯表示パターン

PESA PISAを表示する

整理・デンタルの組写真を高画質にする

ライブラリ並び順 (TaKe、OutPut共通)

乳歯顔画像を利用する

歯の裏側を表示する

コメントのフォントサイズを大きくする

説明 追加時自動的に全画面にする

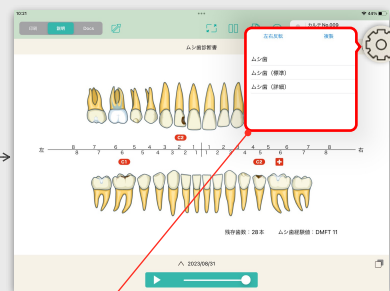
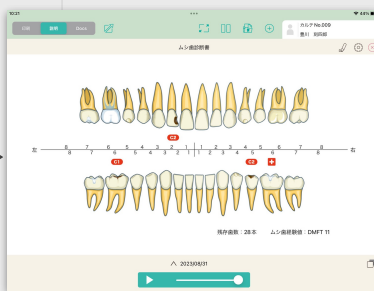
歯周検査表 (グラフ) 日付比較をする

初期設定変更後はDentalHubから操作のやり直しをお願いいたします。

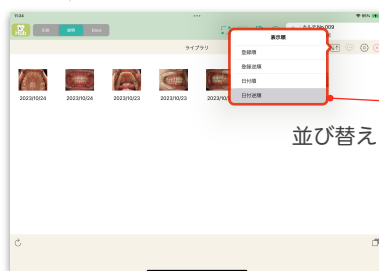
保存

必ず設定を保存してください

表示	初期値	説明
[説明]ムシ歯表示パターン	ムシ歯	[説明]でムシ歯診断書を表示するタイプを設定します 「ムシ歯」「ムシ歯標準」「ムシ歯詳細」から選択します
PESA PISAを表示する	OFF	[印刷][説明]の歯周診断書・歯周検査表・歯周検査表 (グラフ)・診断結果にPESA PISAの値を表示します InPutのメニュー画面にも表示します
整理・デンタルの組写真を高画質にする	OFF	整理・デンタルの組写真表示を高画質にします
ライブラリの並び順 (TaKe、OutPut共通)	登録順	ライブラリの並び順の初期値を設定します
乳歯顔画像を利用する	OFF	ムシ歯診断書の歯のイラスト表示を乳歯顔画像に切替えます



設定メニューから変更することが可能

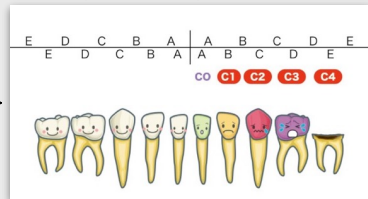
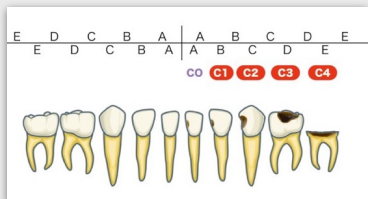


OutPut>[説明]画面



TaKe>ライブラリ画面

並び替えメニューから変更することが可能



小児の歯の絵が切り替わる対象

「健康」「CO」「C1」「C2」「C3」

※ 1 歯に対して複数箇所の入力がある場合は、
入力された部位の中で最も状態の悪いものをその歯の状態として表示します。

次ページへ続く ↓

説明 歯周検査表追加時の左右反転 ☒

説明 唾液検査追加時の反転 ☒

説明 画像の背景色を黒にする ☐

説明 ムシ歯表示パターン ☐

PESA PISAを表示する ☐

整理・デンタルの組写真を高画質にする ☐

ライブラリ並び順 (TaKe、OutPut共通) ☒

乳歯顔画像を利用する ☐

歯の裏側を表示する ☐

コメントのフォントサイズを大きくする ☐

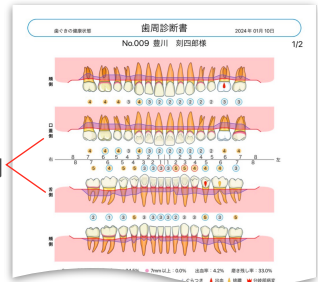
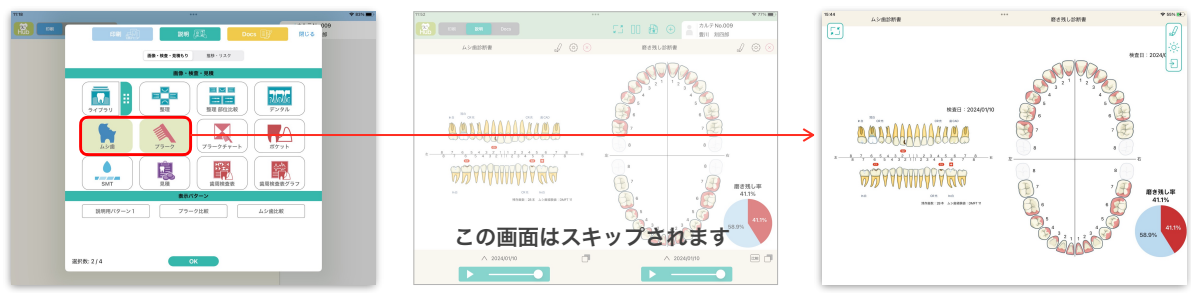
説明 追加時自動的に全画面にする ☐

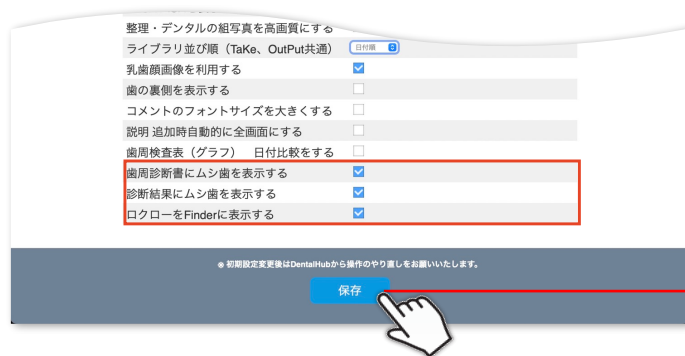
歯周検査表 (グラフ) 日付比較をする ☐

※ 初期設定変更後はDentalHubから操作のやり直しをお願いします。

保存

必ず設定を保存してください

表示	初期値	説明
歯の裏側を表示する	OFF	ポケット6点法の検査データの場合、歯周診断書に頬側だけでなく、口蓋側と舌側を表示できます  歯の裏側
コメントのフォントサイズを大きくする	OFF	診断書コメントのフォントサイズを少し大きく表示します
説明 追加時自動的に全画面にする	OFF	[説明]で項目を追加したときに自動的に全画面になります
歯周検査表(グラフ)日付比較をする	OFF	歯周検査表(グラフ)に前回、前々回のグラフ也表示します 



必ず設定を保存してください

表示	初期値	説明
歯周診断書にムシ歯を表示する	OFF	歯周診断書・診断結果にムシ歯のイラストを表示します
診断結果ににムシ歯を表示する	OFF	※ポケット6点法において、初期設定で「歯の裏側を表示する」にチェックがある場合は除く ムシ歯イラスト
ロクローをFinderに表示する	ON	DX_Finder資料を印刷すると、フッター（用紙の一番下の部分）に「ロクローの大ぼうけん」のQRコードを表示します